【出前講座】藍住町立藍住北小学校

正法寺川を考える会と藍住町北小学校は、「地域学校協働活動」として「体験型ふるさとの川 環境観察学習会」を毎年、年間を通して実施しており、令和8年で22年目を迎えています。
その活動に外部講師として招かれ、令和8年9月25日、藍住北小学校（5年生、4クラス113名）と一緒に正法寺川（しょうほうじがわ）付近で、令和8年9月に完成した魚道や海と川のつながりについて環境学習を行いました。
魚道周辺では、正法寺川～吉野川～紀伊水道（海）とつながっていることや観察窓から魚道を観察できることを説明しました。
また、調査各所でタモ網を用いて生物を捕獲し、捕獲した生物を子どもたちと観察しました。

＜児童の声＞
A）ニホンウナギが流れに逆らって、遡上していくところをみてみたい。
B）汽水域と淡水域の違いがわかった。
C）テナガエビを実際に見ることができてよかった。